

踏み跡 <My Mountains>

花が美しいと言われる甘利山、花のきれいな時期には行ったことがない。昭和 41 年 2 月は雪一面の甘利山だった。花がきれいな季節には混雑が予想されるので、金曜日に休暇をとって、かみさんを誘って日帰りで出かけることにした。前回は叶わなかった大西峰・千頭星山も狙ってみようと欲張って……。昔は夜行列車で行った山だが、今では車を使って日帰りができる。世の中は変わった。



平成 8 年 6 月 28 日

残念ながら天気は曇り。5 時半に自宅を出発、千葉北 IC から入り東関東自動車道・湾岸経由で中央自動車道へ。談合坂 SA で朝食。葦崎 IC で下りて国道 20 号線と釜無川を横切り甘利沢へ。海拔 1,000m あたりまで来たら晴れてきたが、それより上は曇り。

9 時 15 分広河原駐車場着。スタート地点までたどり着いたら何と土砂降り。車の中で雨足が治まるのを見定めて出発したが、歩き始めるとすぐに小雨・雨・土砂降りの繰り返し。

甘利山への登りはレンゲツツジが満開で素晴らしいが、雨では落ち着いて鑑賞することもできない。頂上の少し手前にある経塚 (1671.5m) に三角点があるが、甘利山の頂上 (1731m) には三角点がない。満開の頂上を通過して奥甘利山へ。雨の中うつむき加減で歩いていたら、いつの間にか奥甘利山を通過していた。大西峰*からは海拔 2000m を越える。付近は笹原の美しい斜面がそこかしこにあり、笹原を抜けると唐松林と笹原が程良く混ざり合い、またそこを抜けると笹原に。雨も上がってきたので景色を楽しむ余裕が出てきた。

千頭星* (2138.5m)、大きな標識 (看板と言った方が良くも) が立つ広場の真ん中に三角点が経つ、いかにも頂上らしい頂上。(写真: 右下)

*註: 千頭星=昔は「せんずぼし」と言ったが、最近では「せんとうぼし」と言うらしい。

大西峰=昔は「おおにしうら」と言ったが、最近の資料では「おおにしみね」。



何と幸運なことか、千頭星から戻る頃になったら、雲が切れ始めて少しずつ青い空が見え始めてきた。そして、穂を進めて行くに従って、富士・楡形山・御坂・八ヶ岳と順に姿を現してきた。甘利山の山頂に戻って、レンゲツツジの群がりの中で景色を楽しんでいたなら、足元のツツジの間に良質のワラビが沢山あるのを発見。勿論放っておくわけにはいかない。土産用の収穫を開始。思わぬ土産に頬もほころび駐車場に戻った。帰路は林道を青木鉱泉に下って円井経由で国道 20 号線に入り、

踏 み 跡 <My Mountains>

平日で道路が空いているのでのんびり車窓の景色を楽しみながら走って一の宮御坂 IC から中央自動車道に入った。

昭和 41 年 2 月、雪の甘利山はよかった。平成 8 年 6 月、花の甘利山もよかった。山はそれぞれの季節にそれぞれの表情を見せてくれる。それぞれの表情に深い趣があるのが自然界を眺める楽しみでもある。

以上